

生活者ネット こくぶんじ No.162

2022年10月

発行／国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者／田中由紀
連絡先／〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイソ103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員

たかせ
高瀬かおる

国分寺市議会議員

こさか
小坂まさ代

ローカルからできること 今こそ市民自治のまちづくりを

現政権が次々と打ち出す施策は、市民生活に寄り添ったものではなく、「なぜ？」と首をかしげるものばかりです。本来、政治はより良い生活を実現するためのものです。地域から、生活に密着した政策を提案し、実施していくことが重要です。

議論なきトップダウン の政治にNO！

政府は、健康保険証を2024年の秋に廃止し、マイナンバーカードと一体化した形に切り替えると突然発表しました。運転免許証との一体化の時期も前倒しする方針です。マイナンバー制度は2015年に始まりましたが、カードの申請義務はありません。しかし、この一体化は事実上の義務化であり、このような重大なことを国会で議論を経ないまま閣議決定だけで進めるとは、あまりにも国民を軽視していると言わざるをえません。また、マイナンバーカードの普及と経済対策のための「マイナポイント事業」は今年度、約1兆4000億円もの巨額の予算になっています。さらに、原発の再稼働や増設、防衛費の大幅増額なども実施する方向です。

一方、市民生活はコロナ禍か

暮らしを重視した 政策を最優先に

世界に目を向けると、ヨーロッパではミニシパリズム（地域・自治体主義と呼ばれる、新たな動きが広がってきています。これは、2015年前後にスペインのバルセロナで登場した社会運動で、自然と共生する社会を目指し、食・医療・エネルギーなど暮らしに直結する施策を重視し、地方政治を軸にしています。ミニシパリズムを日本に

ら抜け出せず、困窮する人々が増えています。年金の支給額は減額され、高齢者の医療費負担は増え、介護や保育の現場は人手不足。大学生は高い学費を奨学金でまかない、卒業後は返済に追われるという状況です。政府の施策には、私たち国民に寄り添う姿勢が見られません。国民はますます困窮し、信頼は失われてゆくばかりです。

生活者が声を 上げやすい社会へ

紹介した岸本聡子さんが、6月の杉並区長選で当選し、今後の施政が注目されています。こうした地域の自治的な民主主義や合意形成を大切に、ミニシティの代表者を議会に送り、政策をつくっていく。ボトムアップの仕組みは、生活者ネットワークが40年以上前から行ってきた活動そのものといえます。国民の声を聞かない政府に対し、私たちが抱える生活の困難を打開し、暮らしを守っていくためには、今こそ、このような草の根の活動に根ざした政治の在り方が求められています。

地方自治は、政治を暮らしの道具として使いこなし、自発的な市民の活動なしには成り立ちません。諦めることなく、身近なことから対話し、考え、自分たちの手で少しずつでも社会を変えていきましょう。その礎となる対話をするためには、誰もが安心できる多様な価値観を受け入れるミニシティを地域につくっていく必要があります。生活者ネットワークは、居場所も生きがいも生みだせる地域づくりに、これからも力を尽くしていきます。

（小坂まさ代）

住宅で困っている方の 相談窓口ができました。

市民の有志が立ち上げた「居住支援を考える国分寺の会」が、国分寺市内で住まいに関して困っている方の相談窓口「住まいとくらしの応援隊in国分寺」を開設しました。「高齢で一人暮らしだが住み替えたい」「ひとり親で住まい探しが難しい」「障がいがあるが自立して暮らしたい」「家賃の支払いがきつい」などなど、まずは、ご相談ください。無料です。

TEL 080-7541-1049（毎週木曜日10時～17時）

MAIL sumai.kokubunji@gmail.com

「国分寺の井戸」 その四 発行



14年ぶりに市内の井戸所有者を訪問調査し、冊子「国分寺の井戸 その4」にまとめました。調査をする中で、災害時には井戸水を近隣に提供することに協力いただけるというご意見が多々ありました。現在故障していても、「修理費用の助成があれば、協力したい」という声もありました。市の施策として実現するといいいのですが…。

冊子は各公民館、図書館、市役所の関係部署に届けました。頒価200円です。ご希望の方はご連絡ください。（国分寺地下水の会）

ふおと日記

ヒキガエルの目線で！堀の下を少し開ける、一部でいいのでコンクリート段差をスロープにする。これだけでも、いのちの連絡通路になる。

絶滅危惧種は国分寺にいる 身近な生物保全の最前線（10月22日）都立武蔵国分寺公園にて 久保田潤一さん（NPO パース）のお話から



このレポートは、UDフォントを使用しています。

国分寺ネット活動日誌

- 7月5日(火)市の介護保険の状況についてヒアリング
- 7月6日(水)国分寺駅南口視察／「居住支援を考える国分寺の会」参加
- 7月11日(月)日野市発達・教育支援センター「エール」視察
- 7月12日(火)環境カフェ「土壌の環境保全とスローライフ」
- 7月15日(金)子育てカフェ「訪問看護のお話し」
- 7月18日(月)放射能測定
- 7月19日(火)「マサーヨがきく」／市民連合@国分寺のアピール活動に参加
- 7月20日(水)学習会「居住支援の実践」参加
- 7月24日(日)学習会「自然エネルギー 100%実現への道筋」参加
- 7月26日(火)学習会「コロナ禍での母子世帯支援」参加
- 7月27日(水)「デートDV防止講座」参加
- 7月30日(土)都政フォーラム「子どもの権利の視点からインクルーシブ教育をすすめるために」／講演会「世界の子どもたちは今」参加
- 8月1日(月)国立駅北口で朝遊説
- 8月2日(火)学習会「子どもの権利」参加／学習会「自治体でどう減らす？！プラスチック」参加
- 8月3日(水)西国分寺駅南口で朝遊説／講演会「重層的支援体制整備事業について」参加
- 8月6日(土)講演会「図書館が日本を救う」参加
- 8月8日(月)国分寺駅南口で朝遊説／インクルーシブ公園について意見交換会
- 8月10日(水)指定管理者制度について学習会／「居住支援を考える国分寺の会」参加
- 8月12日(金)「史跡武蔵国分寺跡整備工事市民説明会」参加
- 8月19日(金)ひと言提案ワークショップ／市民連合@国分寺のアピール活動に参加
- 8月20日(土)「マサーヨがきく」
- 8月21日(日)「不登校おはなしワクチン」参加
- 8月22日(月)放射能測定
- 8月23日(火)「みんなの遊び場(インクルーシブ遊具)」視察
- 8月29日(月)市内湧き水の流量調査参加
- 9月9日(金)「居住支援を考える国分寺の会」参加
- 9月11日(日)フラワー遊説(田無駅前)参加
- 9月13日(火)国政フォーラム「女性国会議員との懇談会」参加
- 9月17日(土)学習会「市民事業と政治における市民自治のまちづくり(ミニシパリズム)」参加／「子どもの居場所づくり連絡会」参加
- 9月19日(月)市民連合@国分寺のアピール活動に参加
- 9月20日(火)学習会「有機フッ素化合物(PFOS)の水汚染」参加
- 9月25日(日)国分寺憲法教室「えん罪と日本国憲法」参加
- 9月29日(水)放射能測定

9月17日パネルディスカッション 「市民事業と政治における市民自治のまちづくり(ミニシパリズム)」

東京・生活者ネットワークと東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合の共同企画で開催されました。基調講演として「ミニシパリズムとは～市民自治のまちづくり」について内田聖子さん（アジア太平洋資料センター共同代表）からお聞きした後、「代理人運動」として市民を議会に送る活動が始まった経緯を振り返り、実践経験のる方々が成果と課題を報告しました。

今、世界で注目される市民自治の活動を40年以上前から先駆的に行ってきたことを確認する機会となりました。

